

市町村名	伊江村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	伊江村墓地団地造成事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(5)-イ 沖縄の歴史と景観に配慮した千年悠久のまちづくり	
担当部課名	建設課		事業実施年度	平成29 ~ 令和5年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-12	
事業内容	個人墓の散在化、無縁墓や荒地と化した墓など景観の悪化を防止するため、伊江村墓地団地造成工事を行う。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		R3年度	R4年度	R5年度	年度	合計	
	A. 予算現額	6,994	32,774	20,894		60,662	
	B. 執行済額	6,994	11,880	20,894		39,768	
	うち 交付金充当額	5,595	9,504	16,715		31,814	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	36.2%	100.0%	#DIV/0!	65.6%	
	執行状況の説明	予算の範囲内で適正な執行を行った。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	年度	年度
	伊江村墓地団地造成工事	目 標	実施設計実施	造成工事	造成工事		
		実 績	実施設計実施	繰越	造成工事		
		目 標					
		実 績					
		目 標					
		実 績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	年度	年度
	伊江村墓地団地造成工事	目 標	(実施設計完了)	(造成工事)	(造成工事)		
		実 績	実施設計完了	繰越	造成工事		
	【参考指標】 整備工事を行い個人墓の散在化や無縁墓による景観悪化防止のため本墓地団地へ永代使用	目 標					
		実 績					
		目 標					
		実 績					

事業完了後の取り組み								
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成／進捗状況					
	☐ 中期にわたる事業効果 ☒ 後年度に発現する事業効果		R6年度	年度	年度	年度	年度 目標/発現年度	
	・個人墓から村営墓地団地への契約件数: 5件		目 標	5件				
			実 績	3件				
			目 標					
			実 績					
状況説明	【R6年度】 ・墓地団地は5件を目標にしたが、実績3件と下回っている。							
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)					
【R6年度】 ・個人墓地在散在化し、住宅や学校などの公共施設や観光地付近まで墓地が立地し、また、継承者が村内に在住していないことで管理されていない墓地が多く、景観面においても悪影響が懸念されていることから、当該施設の利用促進が期待できる。			【R6年度】 ・管理や安心感・自然環境など、墓地団地の周知・認知向上に努める必要がある。					
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)								
【R6年度】 ・沖縄独自の墓地散在化の抑制及び既存墓地の集約化により、観光地としての景観的な配慮や地域住民の生活環境の改善や周知を図る。								

市町村名	伊江村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	伊江村循環型農業促進事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(10)-ア 離島ごとの環境・特性を生かした農林水産業の振興	
担当部課名	農林水産課	伊江村堆肥センター	事業実施 年度	令和 2	～ 令和 6	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所 Ⅲ-1-(6)	
事業内容	堆肥製造体制を強化し、安定的な堆肥供給を行うことで循環型農業の促進を図る。						
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		R6年度				合計	
	A. 予算現額	20,900				20,900	
	B. 執行済額	20,900				20,900	
	うち 交付金充当額	16,720				16,720	
	執行率(%) (B/A)	100.0%				100.0%	
	執行状況の説明	当初予算にて2,000千円を計上し、事業実績として1,530千円の執行額となった。当初予算計上時には、企業メーカから複数の参考見積を取得しており、指名競争入札の執行により残額が生じた。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
				R6年度			
	堆肥散布車購入	目 標	1台				
		実 績	1台				
		目 標					
		実 績					
		目 標					
		実 績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
				R5年度	R6年度		
	堆肥製造量 R6年 3,000t	目 標	2,500t	3,000t			
		実 績	2,606t	2,500t			
		目 標					
		実 績					
		目 標					
		実 績					

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成／進捗状況				
	☐ 中期にわたる事業効果 ☒ 後年度に発現する事業効果		令和6年度	年度	年度	年度	年度 目標/発現年度
	・堆肥製造量	目 標	3,000t				
		実 績	2,600t				
		目 標					
		実 績					
	状況説明	【令和6年度】 ・堆肥製造量は、2,600tとなり目標を下回っている。					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【令和6年度】 ・堆肥製造量が目標を下回っていることについては、天候不良(雨)が続き、堆肥製造過程における水分量の調整が長引いたことが製造量が伸びなかった。			【令和6年度】 ・天気によって左右されることがなく、機械等の導入により効率的な製造に努める必要がある。				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
【令和6年度】 機械等の活用により、安定的な製造を確立し、効率的で上質の良い堆肥製造・販売を図る。							

市町村名	伊江村							
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】								
事業名	伊江村戦跡及び戦争記念碑等環境整備事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-ア 沖縄文化の継承・発展・普及		
担当部課名	福祉課		事業実施 年度	令和 2	～ 令和 7	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所 Ⅲ-3-(3)		
事業内容	本村の遺跡や記念碑等を用いた効果的な平和学習が行えるよう、安心安全な施設環境を確保することで、後世へ歴史を伝える地として、平和学習の促進を図る。							
実施方法	■ 直接実施 □ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他()							
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	合計		
	A. 予算現額	13,700	27,355	8,067	2,420	51,542		
	B. 執行済額	13,465	26,015	8,067	2,420	49,967		
	うち 交付金充当額	10,772	20,812	6,453	1,936	39,973		
	執行率(%) (B/A)	98.3%	95.1%	100.0%	100.0%	96.9%		
	執行状況の説明	当初予算にて2,000千円を計上し、事業実績として1,530千円の執行額となった。当初予算計上時には、企業メーカから複数の参考見積を取得しており、指名競争入札の執行により残額が生じた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況					
				R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	整備工事の実施	目 標	実施	実施	実施			
		実 績	完了	完了	完了			
		目 標						
		実 績						
		目 標						
		実 績						
	事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
					R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
整備工事の実施完了		目 標	実施	実施	実施			
		実 績	完了	完了	完了			
		目 標						
		実 績						
		目 標						
		実 績						

事業完了後の取り組み								
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成／進捗状況					
	☐ 中期にわたる事業効果 ☒ 後年度に発現する事業効果			令和4年度	令和5年度	令和6年度	年度	年度 目標/発現年度
	整備事業完了後施設利用者に対してアンケート調査を実施し、効果的な平和学習による施設利用が可能となったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。		目 標	-	-	80.0%		
			実 績	-	-	80.0%		
			目 標					
			実 績					
	状況説明	【令和6年度】 今年度は、説明版設置を2箇所行った。今後も説明版を設置する。						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)				【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【令和6年度】 整備した説明版を活用し、平和学習に活用(小学生・中学生・高校生)				【令和6年度】 事業全体整備し、戦跡巡りルートを作成令和8年度				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)								
【令和6年度】 後世へ歴史を伝える地として、平和学習の促進を図る。								

市町村名	伊江村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	ET受精卵造成機器購入事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(7)-ア おきなわブランドの確立と生産供給体制の強化	
担当部課名	農林水産課		事業実施 年度	令和 5	～令和 5	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-6
事業内容	本村における体内受精卵移植事業において、現在優良受精卵造成時に様々な機器を用いて、受精卵の採卵からストロー封詰めまでを実施している。しかし、受精卵凍結作業に係る従来製品の「凍結機」では一度に凍結できるストロー本数や凍結作業段階において、ストロー破損及び移植受胎率の停滞が課題となっており、本事業において従来より性能が向上した新たな凍結機を購入し、凍結受精卵の受胎率向上及び受精卵移植事業の普及促進を図る。						
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		R5年度					合計
	A. 予算現額	2,000					2,000
	B. 執行済額	1,530					1,530
	うち 交付金充当額	1,224					1,224
	執行率(%) (B/A)	76.5%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		76.5%
	執行状況の説明	当初予算にて2,000千円を計上し、事業実績として1,530千円の執行額となった。当初予算計上時には、企業メーカから複数の参考見積を取得しており、指名競争入札の執行により残額が生じた。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
				R5年度	年度	年度	年度
	受精卵造成凍結機購入:1台	目 標	1台				
		実 績	1台				
		目 標					
		実 績					
		目 標					
		実 績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
				R5年度	年度	年度	年度
	成果目標指数の達成:採卵頭数年間50頭	目 標	50頭				
		実 績	15頭				
		目 標					
		実 績					
		目 標					
		実 績					

事業完了後の取り組み								
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成／進捗状況					
	☐ 中期にわたる事業効果 ☒ 後年度に発現する事業効果		令和6年度	年度	年度	年度	年度 目標/発現年度	
	【R6年度成果目標】 令和6年度:400個(30%増)		目 標	400個				
			実 績	249個				
			目 標					
			実 績					
	状 況 説 明	【令和6年度】 目標採卵400個に対し、実績249個、採卵頭数実績44頭(目標50頭)となった。						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)					
【令和6年度】 これまで、村内の採卵業務については、家畜共済組合家畜獣医師(村駐在員)が採卵行為を実施していたが、県内獣医師不足の影響で、駐在員数が2名から1名に減となり、村外開業獣医が月1回(1泊2日)で来島し、採卵業務を実施した。			【令和6年度】 ・村外から出張採卵になることから、畜産農家を集団でとりまとめることにより、技術者の来島回数を低減させ、尚且つ毎回複数の採卵頭数計画を立てることにより、効率が良く実績の向上を目指す。 ・村内個人開業獣医師へ採卵事業の呼び込み。 ・村外からの出張採卵になることから、畜産農家を集団でとりまとめることにより、技術者の畜舎周りの回数を低減させ、尚且つ毎回複数の採卵頭数計画を立てることにより、効率が良く実績の向上を目指す。					
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)								
【令和6年度】 伊江村和牛改良組合、畜産青年部島牛会を中心に、採卵事業参加呼びかけを行い、採卵業務を行う場所を1箇所ないしは2箇所に限定化し、採卵にかかる時間を増やす。								

市町村名	伊江村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	伊江村観光危機管理計画策定事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ 観光客の受入体制の整備	
担当部課名	商工観光課		事業実施 年度	平成 30	～平成 30	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)
事業内容	本村に訪れた観光客が災害時、安全に避難することが出来るよう計画を策定し、観光客の受入体制の強化に努める。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他()						
事業期間中 の予算額・ 執行額 【単位:千円】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	合計	
	A. 予算現額	10,000				10,000	
	B. 執行済額	8,100				8,100	
	うち 交付金充当額	6,480				6,480	
	執行率(%) (B/A)	81.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	81.0%	
	執行状況の説明	予算の範囲内で適正な執行を行った。なお、不用額1,900千円については入札残によるものである。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	伊江村観光危機管理計画の策定 (観光客が災害時、安全に避難することが出来るよう計画の策定)	目 標	観光危機管理計画の策定				
		実 績	策定完了				
		目 標					
		実 績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	伊江村観光危機管理計画の策定完了	目 標	観光危機管理計画の策定完了				
		実 績	策定完了				
		目 標					
		実 績					

事業完了後の取り組み

事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成／進捗状況				
	□ 中期にわたる事業効果		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R6年度
	■ 後年度に発現する事業効果						目標/発現年度
整備後 策定した観光危機管理計画を活用した避難訓練(1回以上/年)を実施することにより、当該計画について検証する。	目 標		避難訓練実施	避難訓練実施	避難訓練実施	避難訓練実施	避難訓練実施
	実 績		避難訓練実施1回	避難訓練実施未実施(新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により)	避難訓練実施未実施(新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により)	避難訓練実施未実施(新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により)	避難訓練実施未実施(新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により)
状況説明	【令和元年度】 - 令和元年度は、各観光関連事業者へ伊江村観光危機管理計画に基づいて、観光危機マニュアルを配布し、伊江村役場が主体となって、宿泊事業者、民家体験宿泊事業者及び受入民家の体表を対象に避難訓練を行った。 【令和2年度】 - 令和2年度は、各観光関連事業者を対象の前年度も実施した避難訓練を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策との関係で未実施となった。 - 沖縄県観光防災力強化支援事業を活用し、伊江村観光危機管理計画に基づいて、観光客用の備蓄倉庫、観光防災備品(簡易トイレ、毛布、救急箱、発電機等)、避難所誘導看板を整備し、観光客受入体制の強化を行った。 【令和3年度】 - 令和3年度は、各観光関連事業者を対象に避難訓練を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の関係で未実施となった。 - 沖縄県観光防災力強化支援事業を活用し伊江村観光危機管理計画に基づいて、観光防災マップや避難所用 TENT を購入し、観光客受け入れ体制の強化を図った。 【令和4年度】 - 令和4年度は、各観光関連事業者を対象に避難訓練を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の関係で未実施となった。 【令和6年度】 - 近年地震による津波災害等が予測される中で、村全体として避難訓練を実施した。その中で、観光施設等の呼びかけ方法や避難方法等を対策した。						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【令和元年度】 - 伊江村観光危機管理計画に基づき観光関連事業者には観光危機マニュアルを配布し、観光関連事業者を対象とした避難訓練を行った。 【令和2年度】 - 伊江村観光危機管理計画に基づき、補助事業を活用し、観光客用の備蓄倉庫、観光防災備品、避難所誘導看板を整備した。 【令和3年度】 - 伊江村観光危機管理計画に基づき、補助事業を活用し、避難所用 TENT と観光防災マップを作成した。 【令和4年度】 - 伊江村観光危機管理計画に基づき、観光関連事業者を対象とした避難訓練を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症対策の観点から訓練の実施を行うことはできなかった。 【令和6年度】 - 伊江村観光危機管理計画に基づき、防災避難訓練を実施し、地震による津波警報が発令された場合の避難方法や観光施設の確認及び呼びかけ方法等を訓練した。また、備蓄品の目視での数量確認を行った。			【令和元年度】 - 伊江村観光危機管理計画に基づいて、避難訓練を行ったが、住民の防災訓練とは違って、観光関連事業者は、観光客の安否確認や、村役場への報告に苦労しているように見えたが、実際に訓練をすることで見えてくる部分が多くあり、次年度以降も継続して実施してほしいという意見も多くあった。 【令和2年度】 - 令和2年度は伊江村観光危機管理計画に基づいて観光客用の備蓄倉庫、観光防災備品、避難所誘導看板を整備したが、不足している備品や消耗品(懐中電灯、電池、生理用品等)を今後も引き続き整備していきたい。 【令和3年度】 - 令和3年度は、伊江村観光危機管理計画に基づき、観光防災マップの作成や避難所用 TENT を購入したことにより、観光防災力の強化することができた。今後は活用方法等も共有し観光危機管理体制の強化を行っていきたい。 【令和4年度】 - 令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策の関係で避難訓練を実施することができなかったが、今後は状況を見て行い、観光危機管理体制の強化を図っていきたい。 【令和6年度】 - 人事異動による引継ぎや備蓄倉庫、備蓄品等の確認が不足しないように注意を図る。また、観光防災マップの見直しが無いか適宜確認する。必要があれば更新する。				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
【令和元年度】 - 伊江村観光危機管理計画の周知を行うことにより、観光関連事業者へ観光危機管理への意識を高めることで、伊江村観光客受入体制の強化に繋げる。 【令和2年度】 - 新型コロナウイルス感染症の影響により、伊江村の観光客数は例年の三分の一にまで減少したが、観光危機に対して危機管理の意識は高まったといえる。今後は伊江村観光危機管理計画に基づいて、観光危機管理体制の強化及び早期の復興計画、観光関連事業者への事業継続支援等を行い、伊江村の観光振興に繋げる。 【令和3年度】 - 観光防災マップ、避難所用 TENT を購入し、防災機能の強化を図ることができた。整備した備品等の活用を行い観光危機管理体制の強化を行い、伊江村の観光振興に繋げる。 【令和4年度】 - 新型コロナウイルス感染防止対策の関係で、防災訓練は行えなかったが、整備した備品等の活用を行い観光危機管理体制の強化を行い、伊江村の観光振興に繋げる。 【令和6年度】 - 観光防災マップの避難所の再確認や周知を広げ、災害時に慌てず迅速に避難できる取り組みを観光関連事業者をはじめ関係団体と共有を図り、観光振興に寄与する。							